



カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001と同等であるJISQ14001を取得している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	自社環境の取り組みについてはホームページ等で開示している。											12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	再生可能エネルギーへのシフトについて取り組んでいる。							7.2					13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	環境に優しいグリーン製品活用として利用率の向上に取り組んでいる。											12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス・リスクマネジメントを徹底し、全社員を対象にコンプライアンス研修を行い、汚職・贈収賄の禁止に取り組んでいる。																16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス・リスクマネジメントを徹底し、全社員を対象にコンプライアンス研修を行い、不正競争行為の防止に取り組んでいる。																	16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	コンプライアンス・リスクマネジメントを徹底し、全社員を対象にコンプライアンス研修を行い、知的財産保護に取り組んでいる。										8.2	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	コンプライアンス・リスクマネジメントを徹底し、全社員を対象にコンプライアンス研修を行い、個人情報保護に取り組んでいる。																		16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5					8		10	12	13	14	15	16	17	
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	安全品質文化形成の取り組みとして、労働安全衛生管理体制を構築している。			3.9									12.4							
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	安全品質文化形成の取り組みとして、労働安全衛生管理体制を構築している。																9			
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6						12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																											
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	通信キャリア、都市インフラ、システムソリューション事業により、地域貢献を目指している。				4									9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	近隣の清掃活動、地域イベント(千曲の棚田保存)への参加を行っている。				4												11				14	15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ														8	9			11	12	13				
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	グループ会社を含め、各種会議・メール・ホームページ等により情報の共有を図っている。													8	9									17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス・リスクマネジメントを徹底し、全社員を対象にコンプライアンス研修を行い、法令遵守に取り組んでいる。																							16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	専門部署ならびに顧問弁護士との連携によるコーポレートガバナンス体制を整備している。																							16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	株主総会、決算発表、IR活動によりステークホルダーとの対話を行っている。																						16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ISOによるマネジメントシステムを活用している。品質、環境、労働安全衛生、情報セキュリティ																							16
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	社内にサステナビリティ推進室を設置し、CSRについての取り組みを進めている。																							16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ																9			11		13 13.1			16
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ															8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)